

令和6年度 鑑石園ショートステイ 事業報告書

1. 事業運営の概況

特別養護老人ホームと連携し、少人数でのレクリエーション及びリハビリテーションを工夫し、利用者に楽しく過ごしていただけるよう配慮した。

毎月他の居宅介護支援事業所に空き情報を送付した他、情報共有等によりケアマネジャーとの信頼関係の構築に努め、稼働率の向上を図った。

感染症対策として、職員の手洗い、うがい、手指消毒を徹底した他、利用者にも可能な限り協力をお願いしたが、特養側で新型コロナウイルス感染者が発生し、ショートステイを約2週間閉鎖した。

2. 事業計画実施状況

(1) 稼働率の向上

① 稼働率80%を目標に、各居宅介護支援事業所に空き情報を提供し、積極的に営業活動を行い、新規利用者も増加し予約件数は稼働率80%を超えていたが、令和6年7月から8月および令和7年1月から2月にかけて、特養側で新型コロナウイルス感染者が発生し、感染者の隔離期間中ショートステイを閉鎖。そのため年間の平均稼働率は71.6%と目標には届かなかった。

令和7年度は施設全体で感染対策を徹底し、稼働率の向上を目指す。

② 空床時には緊急利用にも対応できるよう、家族や地域包括支援センターとのコミュニケーションを重視し、臨機応変な対応を心がけた。

(2) 介護力の向上及び事故防止

- ① 新規利用者受入れの際は、相談員が作成したアセスメントを基に、ショートステイ職員および特養職員にも利用者の身体状況等について周知した。
- ② 利用者毎に作成されたケアプランに基づき、短期入所生活介護計画を作成し、家族と利用者本人が満足できるサービスの提供に努めた。
- ③ 家族との信頼関係を築くため、送迎時の家族との会話を重視し、入所時には利用者の心身の状態を伺い、退所時には、利用中の状況を報告した。
- ④ 利用者受入に際して、身体状況等に合わせた部屋の配置とし、事故等が危惧される方には、フットコールを設置し見守りを強化する等の事故防止に努めた。

(3) 非常災害対策

防災訓練年間計画に基づき、特養と連携して防災訓練を行った。

(4)コスト削減

特養と連携し、入居者の使用するおむつとパッドの適時見直し、エアコンの設定温度の適時調整、フィルターの清掃を行った。

(5)衛生管理

- ① 感染症予防のため、シーツ交換時にベッド周りの消毒を行い、ベッドマットレスのダニ対策を実施した。また毎週1回食器類の消毒を実施した。
- ② 入所前の検温を実施、諸症状のある利用者に対しては、居室を分ける等の工夫により感染防止に努めた。

令和6年度に実施した行事については次の通り

月	内容
4月	お花見
6月	夏祭り
7月	七夕
8月	盆供養
9月	調理レク(みかんケーキ作り)
10月	彼岸供養
11月	調理レク(焼き芋、たこ焼き作り)
12月	餅つき
1月	お屠蘇配り
2月	節分
3月	彼岸供養